

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	育児支援シート(初診用と再診用)の実態調査 ー妊娠中から早期育児支援が必要な妊婦の現状調査・第二弾ー
研究責任者	柳村直子(MFICU)
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	<p>当センターでは、すべての妊産褥婦をできるだけ早い時期にのスクリーニングし、そこで抽出された問題点に対し外来及び入院時から退院に向けた支援・調整を図り、一人一人の対象者にふさわしい支援体制が提供できるようにしていけることを目的に「育児支援シート」を作成し、平成24年11月より産科外来にて使用開始しました。平成25年に初診時の実態調査を行っていますが、再診時の実態調査は行っていません。今回は妊娠初期の初診時と妊娠後期の再診時の二回分の「育児支援シート」の回答内容、妊娠初期と後期での回答内容の変化、そして実施した支援内容の実態調査を行うことが本研究の目的です。</p> <p>全国で同様なスクリーニングを開始している病院・産院が増えていますが、実態調査が発表されていることはほとんどない現状です。年間3000件の分娩がある当センターの実態がわかることは、現在妊産褥婦が抱えている問題を明らかにできます。また支援内容を振り返ることで、どのような支援が役立つのか今後の支援体制の見直しに繋がると考えています。</p>
研究方法	<p>本研究は、平成30年1月から2月に当センターで分娩された方の記入された「育児支援シート」の内容の実態調査であり、記載項目を統計的に分析します。すべてのデータは匿名化して行うため、個人情報や資料が第三者に知られる危険はありません。本研究の被験者となることを希望しない方は下記までご連絡ください。希望しない場合でも不利益が生じることはありません。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター MFICU 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：柳村直子 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604</p>